



Autodesk Collection	Autodesk Suite
Autodesk Maya	Autodesk 3ds Max
Autodesk Maya LT	Autodesk MotionBuilder
Autodesk Mudbox	

2024, 2023, 2022, 2021, 2020, 2019 版インストールガイド

シリアル番号ライセンス

- サブスクリプションシングルユーザー(スタンドアロン)
- サブスクリプションマルチユーザー(ネットワーク)
- 保守プラン付き永久ライセンス

■ご注意

このインストールガイドは、本製品の使用許諾契約書に基づいて使用することができます。

このインストールガイドの全部または一部を、ダイキン工業株式会社の書面による許可を得ることなく複写、複製、転用することはできません。

このインストールガイドの記載内容は、予告なく変更することがあります。

■著作権と商標

3ds Max、Maya、Maya Creative、MotionBuilder、Mudbox、Arnold、ShotGrid、Flex は、米国 Autodesk, Inc.の登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

その他、このインストールガイドに記載されている会社名、製品名は、一般に各社の登録商標または商標です。

なお、文章中では TM マークおよび R マークは明記していません。

オートデスク製品のスクリーンショットは、米国 Autodesk, Inc. の許可により転載されています。

目次

1. はじめに.....	3
2. AUTODESKアカウントへのアクセスについて(契約管理者[プライマリ管理者]の方はご確認ください)	5
3. ライセンスサーバー側でのインストール・セットアップ(マルチユーザーの場合のみ)	8
3-1. ライセンスの取得	8
3-2. 旧ライセンスマネージャのアンインストール	11
3-3. ライセンスマネージャのインストール	12
3-4. ライセンスマネージャのセットアップ	13
3-5. ライセンスの移設、再取得	14
4. クライアント側でのインストール・セットアップ	15
4-1. アプリケーションのインストール(通常のインストール)	15
4-2. ネットワーク配置によるインストール、サイレントインストール	18
4-3. アプリケーションの起動とアクティベート	19
4-4. 使用するライセンス種類の変更	20
4-5. 参照するライセンスサーバーの追加、変更(マルチユーザーのみ)	21
4-6. 前バージョンの使用	23
4-7. ARNOLDレンダーノードのインストール／設定(スタンドアロンレンダーを使用される場合)	24
5. トラブルシューティング	29
5-1. マルチユーザーのトラブルシューティング	29
5-2. シングルユーザーのトラブルシューティング/FAQ	31
5-3. シングルユーザー／マルチユーザーのトラブルシューティング	33
6. リンク集	35
6-1. 各製品のドキュメント(バージョンに非依存)	35
6-2. 各2024製品のヘルプ、ドキュメント	36
6-3. 各2023製品のヘルプ、ドキュメント	37
6-4. 各2022製品のヘルプ、ドキュメント	37
6-5. 各2021製品のヘルプ、ドキュメント	38
6-6. 各2020製品のヘルプ、ドキュメント	38
6-7. 各2019製品のヘルプ、ドキュメント	39
6-8. AUTODESK製品全般に関する情報	40
6-9. AUTODESK社のテクニカルサポート	40
6-10. ダイキン工業のテクニカルサポート	41

1. はじめに

1-1. システム要件を下記サイトにてご確認ください。

各製品：<https://www.autodesk.co.jp/support/system-requirements/overview>

ライセンスマネージャ（マルチユーザーのみ）：

<https://www.autodesk.co.jp/support/download-install/admins/create-deployments/network-license-manager-system-requirements>

1-2. マシンの日付と時刻、画面解像度、ネットワーク設定(TCP/IP,マシン名)をご確認下さい。

1-3. インストール作業は管理者権限を持っているユーザでログインして作業して下さい。

1-4. Autodesk テクニカルソリューションサイトをチェックし、更新プログラム & サービスパック情報を入手してください。できるだけ最新のバージョンをインストールされることをお勧めします。

① Autodesk 社サイトへアクセスします。

<https://www.autodesk.co.jp/>

② 左上の[サポート]をクリックし、[ダウンロード] - [更新プログラム]および、[セキュリティ修正プログラム、修正プログラムサポート用ダウンロード]から、あらかじめ更新分があるかどうか確認しておきます。



③ セキュリティ修正や Hot Fix 等、すべてのユーザ様でご利用いただけるものもございます。「サブスクリプションメンバー向け」の Update 等、機能強化パッケージについては、Autodesk アカウントにログインして、ダウンロードする必要があります。



1-5. お持ちのライセンスのライセンス形態およびインストール形態をご確認ください。

<ライセンス形態>

保守プランは永久ライセンス、サブスクリプションは期間ライセンスです。

<インストール形態>

シングルユーザーは特定の個人に割り当てられるライセンス(旧スタンドアロンライセンスに相当)、マルチユーザーはライセンスサーバーを設け、同時起動数が固定されているライセンスで、同時起動数以内ならば他のユーザとライセンスを共有することが可能です(旧ネットワークライセンスに相当)。

■ 参考ドキュメント

・サブスクリプションをご契約するにあたって – ご活用のヒント

<https://www.autodesk.co.jp/products/subscription-startup>

(<https://www.autodesk.co.jp/> – サブスクリプションのスタートアップについて からでもアクセスいただけます)

・使用規約

<https://www.autodesk.com/company/terms-of-use/jp/general-terms>

※「サブスクリプション特典」、「サブスクリプションの種類」等へのリンクもございます。

1-6. 本インストールガイドとあわせて、オートデスク社サイトの「サポート ダウンロードおよびインストール」を参照されることをお勧めします

<https://www.autodesk.co.jp/support/download-install>

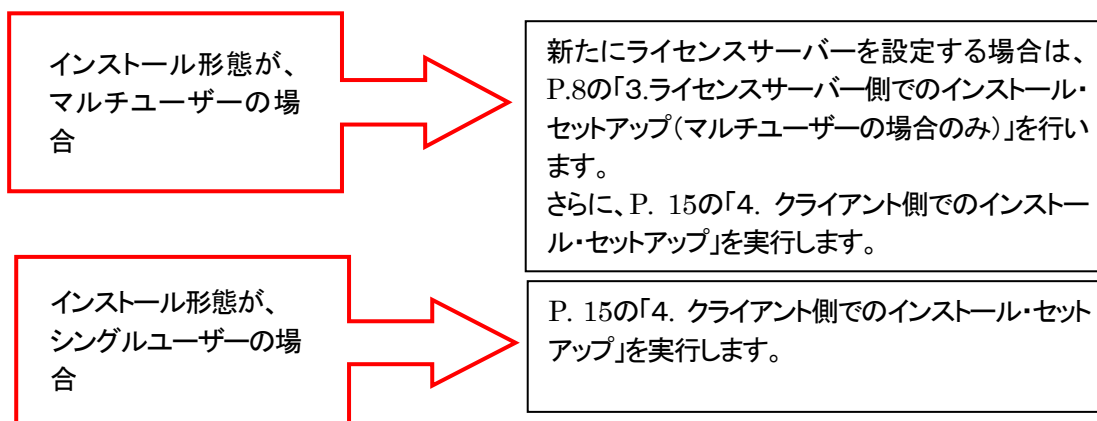
インストレーションヘルプ: https://help.autodesk.com/view/INSTALL_LICENSE/JPN/

1-7. 各種技術サポートおよび Autodesk アカウントやサブスクリプション特典についてのトラブルや疑問につきましては、以下のサイトに手順にてオートデスク社に直接お問い合わせいただけます。

・サポートへの問い合わせ

<https://www.autodesk.co.jp/support/contact-support>





1-8. 作業フローにつきましては、インストール形態によって異なりますので、以下の手順をご確認ください。




2. Autodesk アカウントへのアクセスについて(契約管理者[プライマリ管理者]の方はご確認ください)

ソフトウェアのライセンス管理、ダウンロードなどのため、Autodesk アカウントが必要となります。契約管理者(プライマリ管理者)の方は、契約開始日にオートデスク社から送られてくる、利用開始メールに基づき、以下の手順で、Autodesk アカウントへアクセスして内容をご確認ください。

<契約管理者が新規ユーザ様の場合>

	<ol style="list-style-type: none"> 1. 左図のような利用開始メールが届きます。[今すぐアカウントを作成] をクリックします。 2. [アカウントを作成]画面にて、必要事項を入力し、Autodesk の使用条件やプライバシーーステートメントをご確認の上、[アカウントを作成] をクリックします。 3. [アカウントが作成されました] が表示されたら作成完了です。[完了] ボタンをクリックすると、Autodesk アカウントへのサインイン画面が表示されます。 4. 作成時に用いた情報を用いて、サインインしてください。 <p>※[今すぐアカウントを作成] のリンクは、90 日間有効です。</p>
<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="flex: 1;">  </div> <div style="flex: 0.1; text-align: center;">  </div> <div style="flex: 1;">  </div> </div>	

<契約管理者(プライマリ管理者)が既存ユーザ様の場合>

	<ol style="list-style-type: none"> 1. 左図のような利用開始メールが届きます。[サインインして機能を利用する] をクリックします。 2. Autodesk アカウントへのサインイン画面が表示されますので、登録済みのメールアドレスとパスワードを使用してサインインしてください。 <p>※メールのリンクを経由せず、直接 Autodesk アカウントへサインインされても問題ありません。</p>
---	---

<ライセンスタイプおよびサブスクリプション ID/シリアル番号 の確認>

ご契約内容のほか、ライセンスタイプおよびサブスクリプション ID/シリアル番号をご確認ください。ライセンスタイプにより、アクティベーションの方法が異なります。また、サブスクリプション ID やシリアル番号は、トラブル時のサポート依頼、様々なお問い合わせの際に必要となる場合がございます。

■ ライセンス証書の「シリアル番号/サブスクリプション ID」の確認

オートデスク社より送付される、ライセンス証書にて、「シリアル番号」もしくは「サブスクリプション ID」がご確認いただけます。

AUTODESK License Certificate

Customer #	Certificate Date
Account	Supporting Reseller/Dealer
ダイキン工業 株式会社 (discreet) 港区2-18-1 JR品川(イ)ビル10 階 港区, Tokyo-to, 108-0075 Japan	

DETAILS

Product Description	Maya 2020 Non-Language Specific		
Serial # / Subscription ID	[Redacted]		
Product Key	657L1	License Term	3-Year
Language		Maximum Concurrent Authorized Users	3
Usage	Commercial Product		
License Type	Standalone	SAP Material #	[Redacted]
Contact Email	[Redacted]		
Contact Phone #	[Redacted]		

■ アカウント内にて、ライセンスタイプが、[Autodesk ID] の場合

「サインイン」によるアクティベーション、サブスクリプション ID (シリアル番号に相当)が発行されています。

・ソフトウェアを実行する

<https://www.autodesk.co.jp/support/download-install/individuals/configure-install/run-your-software>

「Autodesk ID」と表示

「サインイン」と表示

「サブスクリプションと契約」をクリック

「サブスクリプション ID」が表示

- アカウント内にて、ライセンスタイプが、[スタンドアロン]または[ネットワーク] の場合
「シリアル番号」が発行されています。

- ・ソフトウェアを実行する

<https://www.autodesk.co.jp/support/download-install/individuals/configure-install/run-your-software>

The screenshot shows the Autodesk 3ds Max license page. At the top, it says '3ds Max' and 'サブスクリプション・シングルユーザ'. Below this, there's a 'ダウンロード' (Download) section. In this section, 'バージョン' (Version) is set to '2023, 2022, 2021, 2020' and 'プラットフォーム' (Platform) is 'Win 64'. A red box highlights the 'ライセンスタイプ' (License Type) dropdown menu, which is currently set to 'スタンドアロン' (Standalone). To the right of this box, a red annotation says 'ライセンスタイプが、『スタンドアロン』または『ネットワーク』' (License type is 'Standalone' or 'Network'). Below the dropdown, there's a table with columns 'バージョン' (Version) and 'アクティベーション' (Activation). The table lists three versions: 2023, 2022, and 2021. Each version has a 'ダウンロード' (Download) button and a '履歴' (History) button. A red box highlights the 'アクティベーション' column for the 2023 version, showing the serial number '12801' and a link to 'さらに表示' (Show more). To the right of this box, a red annotation says 'シリアルナンバーが発行されています' (Serial number is issued). At the bottom of the table, there's a link 'すべての製品/バージョンを表示' (Show all products/versions). Below the table, there's a 'その他' (Other) section with links for 'ダウンロード ヘルプ' (Download Help), 'インストール ヘルプ' (Install Help), '更新プログラムとアドオン' (Updates and Add-ons), and 'カスタム インストールと配置' (Custom installation and placement).

3ds Max
サブスクリプション・シングルユーザ

概要 サブスクリプション

ダウンロード

バージョン 2023, 2022, 2021, 2020 プラットフォーム Win 64

ライセンスタイプ スタンドアロン

ライセンスタイプが、『スタンドアロン』または『ネットワーク』

バージョン アクティベーション

2023
ダウンロード
履歴

シリアル / キー
12801 / 1 さらに表示

2022
ダウンロード
履歴

シリアル / キー
12801 / 1 さらに表示

2021
ダウンロード
履歴

シリアル / キー
12801 / 1 さらに表示

シリアルナンバーが発行されています

すべての製品/バージョンを表示

その他

ダウンロード ヘルプ
インストール ヘルプ

更新プログラムとアドオン
カスタム インストールと配置

<参考>

- ・ライセンスタイプの概要

<https://www.autodesk.co.jp/support/download-install/admins/license-types/overview-of-license-types>

3. ライセンスサーバー側でのインストール・セットアップ(マルチユーザーの場合のみ)

【重要！！】Autodesk Network License Managerのバージョンにご注意くださいご使用のバージョンに未対応のライセンスマネージャをお使いの方は、必ず更新をお願い致します。

※いずれも最新バージョン、11.19.4.1 のご使用をお勧めします。

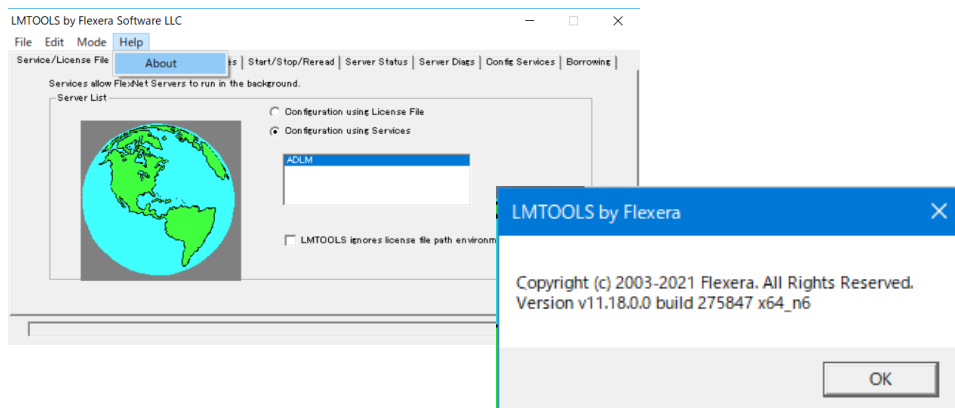
2024 バージョン: 11.18.0.0 以上

2023, 2022, 2021, 2020 バージョン: 11.16.2.0 以上

2019 バージョン: 11.14.1.3 以上

＜ライセンスマネージャのバージョン確認方法＞

LMTOOLS を起動し、Help > About で表示されるウィンドウ内にて確認できます。



＜参考サイト＞

・ライセンスを計画する

<https://www.autodesk.co.jp/support/download-install/admins/network-licenses/plan-your-license>

- ・旧ライセンスマネージャをお使いの場合はアンインストールしておきます。P.11 「3-2. 旧ライセンスマネージャのアンインストール」をご参照ください。
- ・新しいライセンスマネージャ(ADLM + LMTOOLS Utility)を、製品のインストーラやダウンロードしたmsi や exe 形式インストーラからインストールし、ライセンスのセットアップを行います。
- ・インストールには管理者権限が必要です。
- ・Windows 11/Windows 10/Windows 8.1 環境では UAC 無効状態での作業を推奨します。

3-1. ライセンスの取得

インストール、セットアップの前に、ライセンスの取得を行ってください。ライセンス取得の方法は以下の方法があります。既に代理店等から各バージョン対応のライセンスファイル(拡張子が、.lic のファイル)を受け取られている場合、このステップは必要ありませんので、P.12 の「3-3. ライセンスマネージャのインストール」にお進みください。

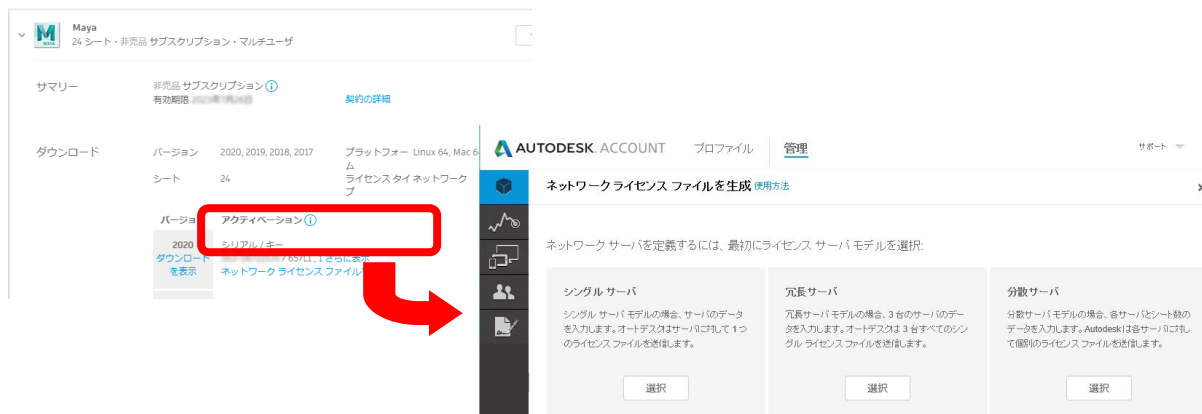
ライセンスサーバーのインストールや構築など、以下のサイトにてご参照いただけます

・ワークフロー: ネットワークライセンスを計画、インストール、環境設定する

https://help.autodesk.com/view/INSTALL_LICENSE/JPN/?guid=GUID-AD817657-43BD-4571-B887-5326B358C54C

＜方法1:Autodesk アカウント内でネットワークライセンスファイルを生成し、取得する方法＞

ご購入時に申請していただきました契約管理者の Autodesk アカウントにて、ネットワークライセンスファイルを生成、取得できます。異なる製品のライセンスが結合された統合ライセンスも取得できます。自動発行されますので、即時にご入手いただけます。



詳細な手順は以下の URL をご参照ください。

- ・ライセンスファイルを取得、インストールする

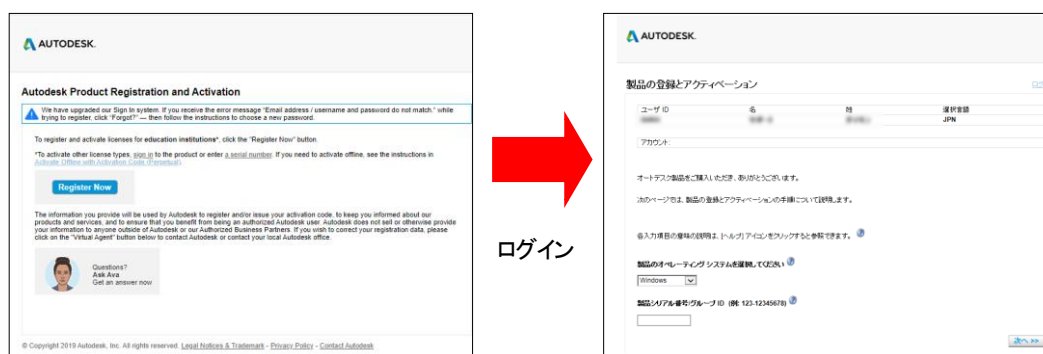
<https://www.autodesk.co.jp/support/download-install/admins/network-licenses/obtain-and-install-a-license-file>

発行におけるヒント:

- ・異なる製品のライセンスはもちろん、(シリアル異なる)同じ製品でも、結合して同じライセンスサーバに載せることが可能ですが、基本的にそれらのライセンスは同日発行していただく必要があります。結合できるライセンスについての詳細は、以下のサイトをご参照ください。
- ・ライセンスファイルを結合する
<https://www.autodesk.co.jp/support/download-install/admins/network-licenses/about-licensing-options-and-tools/combine-license-files>
- ・1つのシリアルに複数本のライセンスが含まれる場合、その1部のライセンスの発行も可能です(例: 10本のライセンスのうちの2本だけ発行)。その場合は「分散サーバ」を選択し、その後のステップで発行本数を指定してください。

＜方法2:Autodesk RegisterOnce Web サイトから直接ライセンスを取得する方法＞

上記、方法1のオートデスクアカウント内で生成するシステムが実現される前に使用されていた方法です。個々の製品のライセンスファイルを生成できます。統合ライセンスが必要な場合は、手作業で結合する必要があります。自動発行されますので、即時にご入手いただけます。



<https://registeronce.autodesk.com>

詳細な手順は以下の URL をご参照ください。

・ライセンスファイルを取得、インストールする - 「統合ライセンスファイル」

https://help.autodesk.com/view/INSTALL_LICENSE/JPN/?guid=GUID-1D6E9AF0-B693-4C9C-8ADF-EE874FE6600A

＜方法3:弊社(ダイキン工業)CG Products サポートセンターに依頼する方法＞

以下のライセンスリクエストフォームからご請求ください。

<https://www.comtec.daikin.co.jp/DC/prd/collection/support/> - 「ライセンスリクエスト」

多数のライセンスを請求される場合や添付ファイルでご請求される場合など、電子メールでのご請求も可能です。以下の情報を添えて、ご請求ください。

- ・ご自身の情報: 会社名、部署名、お名前、連絡先(E-Mail、TEL)
- ・製品のシリアル番号(ご購入時のオートデスク社からのご案内メールやオートデスクアカウント内でご確認いただけます)
- ・ライセンスタイプ: シングルサーバー／冗長型サーバー／分散型サーバー
※冗長型サーバーは幾つかの問題点が報告されており、推奨されていません。
- ・ライセンスサーバーとなるマシンの OS、マシン名、イーサネットアドレス(MAC アドレス)
- ・分散型サーバーにする場合は、各マシンに割り振るライセンス数

※受付時間: 月曜日～金曜日 10:00～17:30

(祝祭日・夏季休業・年末年始休業・その他非営業日を除く)

電子メール: cg-support@daikin.co.jp

※1週間程度かかる場合がございます。

3-2. 旧ライセンスマネージャのアンインストール

新規にライセンスマネージャをセットアップされる場合や既に 2020 以降のバージョンに含まれているライセンスマネージャをお使いの場合は、このステップは必要ありません。P.12 の「3-3. ライセンスマネージャのインストール」にお進みください。

2019 バージョンでは Autodesk Network License Manager のバージョンを 11.14.1.3 以上、2020～2023 バージョンでは 11.16.2.0 以上、2024 バージョンでは 11.18.0.0 以上にする必要があります。それ以前のバージョンに含まれていたライセンスマネージャをお使いの場合、アプリケーションが起動しないことがありますので、あらかじめ旧ライセンスマネージャはアンインストールを行い、P.12 の「3-3. ライセンスマネージャのインストール」にて、各バージョンの製品に含まれておりますライセンスマネージャ、もしくは最新版(11.19.4.1)をダウンロードサイトより取得し、セットアップしてください。

<参考サイト>

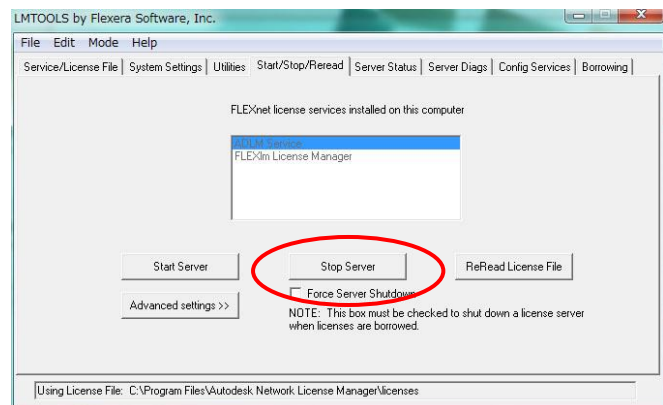
・ライセンス発行ソフトウェアをインストールする - 「NLM をアンインストールする」

<https://www.autodesk.co.jp/support/download-install/admins/network-licenses/install-licensing-software>

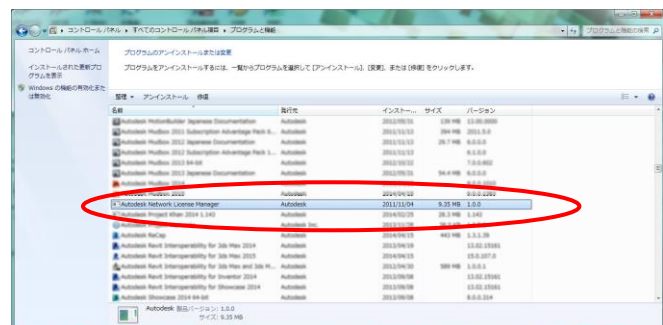
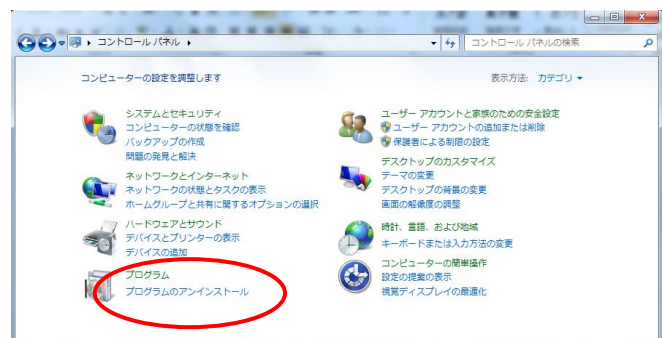
① 念のため、現在使用しているライセンスファイルのバックアップを取っておいてください。

② Autodesk Network License Manager グループに含まれている LMTOOLS Utility を起動します。

③ 該当する FLEXnet license service を選択し、「Stop Server」ボタンをクリックし、サービスを停止します。



④ Windows のコントロールパネル > 「プログラムのアンインストール」にて、「Autodesk Network License Manager」を選択し、アンインストールを行います。



3-3. ライセンスマネージャのインストール

<参考サイト>

・ライセンス発行ソフトウェアをインストールする - 「NLM をインストールする」

<https://www.autodesk.co.jp/support/download-install/admins/network-licenses/install-licensing-software>

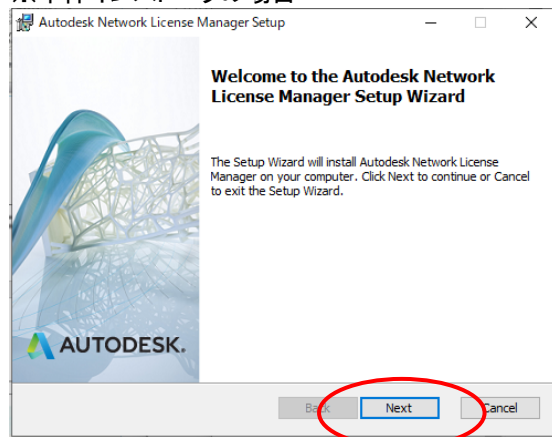
※同サイトから Mac OS 版、Linux 版へのリンクもございます。

※同サイトに最新バージョンのライセンスマネージャへのダウンロードリンクもございます。アプリに同梱されているバージョンより新しい場合もあり、より安定して運用いただけます。

※2021 以降、Maya2020/MayaLT2020 の場合は、インストーラ解凍後のフォルダにて、C:\Autodesk\<解凍フォルダ>\x64\Tools\NLM\NLM.msi を実行するか、上記サイトより単体のインストーラを入手し、実行してください。

- ① インストーラを Autodesk のサイトから入手し、起動します。

※単体インストーラの場合



- ② 「Next」をクリックし、インストーラの指示に従ってインストールを実行します。

- ③ インストールの完了が表示されたら、正常にインストールされたかどうか確認してください。デスクトップに「LMTOOLS Utility」アイコンが出来ているのを確認します。



3-4. ライセンスマネージャのセットアップ

ライセンスマネージャのセットアップを行います。

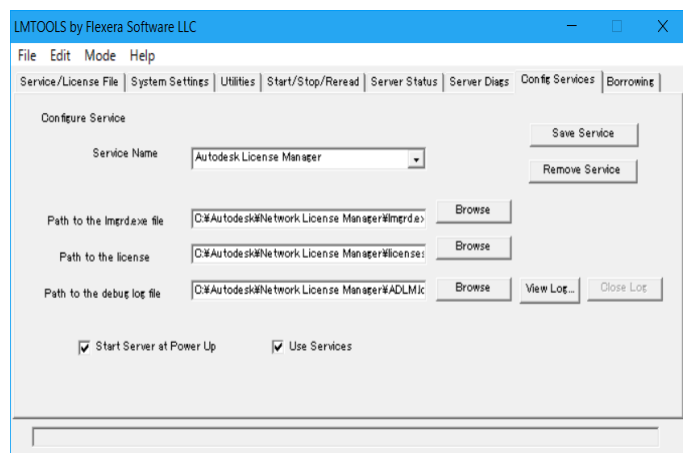
- ① ライセンスマネージャのフォルダへ、ライセンスファイル(～.lic)をコピーします(デフォルトでは、C:\¥Autodesk¥Autodesk Network License Manager)。複数のライセンスファイルがある場合には、ライセンスファイルを結合し、1つのファイルにする必要があります。

- ② デスクトップにある”LMTOOLS Utility”アイコンをダブルクリックするか、[スタート > すべてのプログラム > Autodesk > Network License Manager > LMTOOLS Utility]を実行します。



- ③ LMTOOLS Utility が起動したら、[Config Service]タブをクリックし、以下の項目を指定します。

設定後、”Save Services”ボタンをクリックします。



項目	設定内容	設定例
Service Name	サービス名	Autodesk License Manager
Path to the lmgrd.exe file	lmgrd.exe ファイルを指定	C:\¥Autodesk¥Autodesk Network License Manager¥lmgrd.exe
Path to the license file	ライセンスファイルを指定 *1	C:\¥Autodesk¥Autodesk Network License Manager¥Maya2023license.lic
Path to the debug log file	ログファイルを指定 *2	C:\¥Autodesk¥Autodesk Network License Manager¥autodesk.log
Start Server at Power Up	マシン起動時に自動スタート	ON にする(推奨)
Use Services	サービスの有効/無効	ON にする(必須)

*1: 複数のライセンスファイルがある場合はライセンスファイルを結合してください。フォルダを指定すればその下の .lic 拡張子を持つライセンスファイルがすべて参照されますが、ライセンス取得順がコントロールできない問題が生じることがありますのでお勧めしておりません。

*2: 存在しない場合は、自動的に作成されます。

<参考サイト>

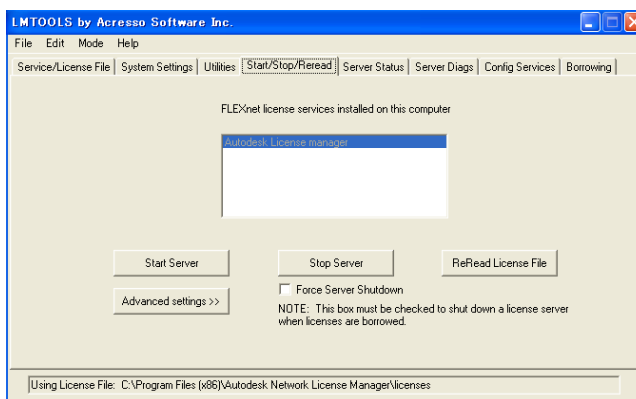
・概要 – ライセンス オプションとツール

パッケージライセンス(前バージョンを含むライセンス)、カスケードライセンス(単体、suite ライセンスの混在環境での優先度)などの記述があります。

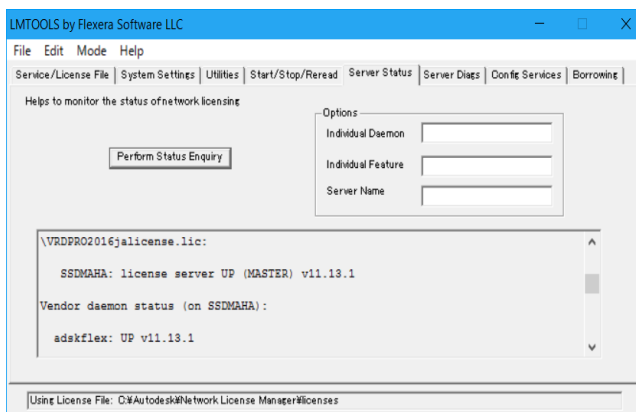
<https://www.autodesk.co.jp/support/download-install/admins/network-licenses/about-licensing-options-and-tools>

- ④ [Start/Stop/Reread]タブをクリックし、[Stop Server]→[Start Server]の順でクリックします。

※ウィンドウ下のメッセージボックスに「Server Start Successful」と表示されることを確認してください。



- ⑤ [Server Status] タブの”Perform Status Enquiry”ボタンを押して、ライセンス FEATURE のリリース状態とクライアント数を確認してください。また、ここで、ライセンスマネージャのバージョンも表示されますので、2019 の場合は、v11.14.1.3 以上、2020, 2021, 2022, 2023 の場合は、v11.16.2 以上、2024 の場合は、v11.18.0.0 以上であるかご確認ください。



- ⑥ 必要に応じて、ファイアウォールの例外登録を行ってください。

<ポート番号を例外登録する場合>

ポート番号:	
2080/TCP	※adskflex.exe で使用します。
27000~27009/TCP	※lmgrd.exe で使用します。

<プログラムを例外登録する場合>

プログラム:	
C:\Autodesk\Autodesk Network License Manager\lmgrd.exe	
C:\Autodesk\Autodesk Network License Manager\adskflex.exe	

3-5. ライセンスの移設、再取得

ライセンスサーバーマシンを変更する場合は、新しいマシンの情報に基づいて、通常の方法(P.8「3-1. ライセンスの取得」)で、ライセンスを再取得していただき、旧ライセンスサーバーからはライセンスファイルを削除してください。

※ 弊社のライセンスリクエストフォームからも申請できますが、1～3営業日かかる場合がございます。また、コメント欄に移設である旨、ご記入ください。

<https://www.comtec.daikin.co.jp/DC/prd/collection/support/> - 「ライセンスリクエスト」

4. クライアント側でのインストール・セットアップ

- ・ 事前にライセンスタイプをご確認ください。(確認方法は、P. 6 をご参照ください)
- ・ シングルユーザーの場合は、起動時にシリアル番号、プロダクトキーが必要です。(Autodesk アカウントの該当製品の欄やオートデスク社からのご案内メールなどに記載されています)
- ・ マルチユーザーの場合は、ライセンスサーバマシンとpingコマンドで通信ができることを確認しておいてください。名前解決がされていない場合は、IP アドレスで指定し通信できることを確認してください。
- ・ インストールには管理者権限が必要です。
- ・ Windows 11/Windows 10/Windows 8 環境では UAC 無効状態での作業を推奨します。

4-1. アプリケーションのインストール(通常のインストール)

※スクリーンショットは 3ds Max 2023 のものですが、他の製品でも同様なステップでインストールできます。

- ① Autodesk アカウントでログインして、「今すぐインストール」、もしくはダウンロードした .exe 形式のファイルからインストーラを起動します。



Autodesk アカウント:

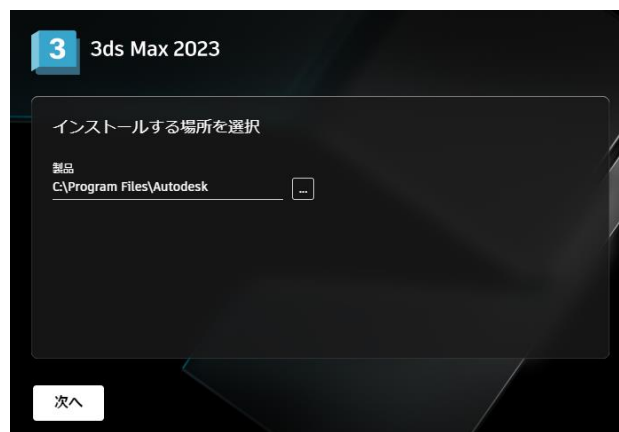
<https://accounts.autodesk.com>

※2023 では、ダウンロード時に使用許諾契約書が表示されます。使用許諾契約書を読み、同意できれば「同意する」を選択します。同意できない場合は「同意しない」を選択してください。

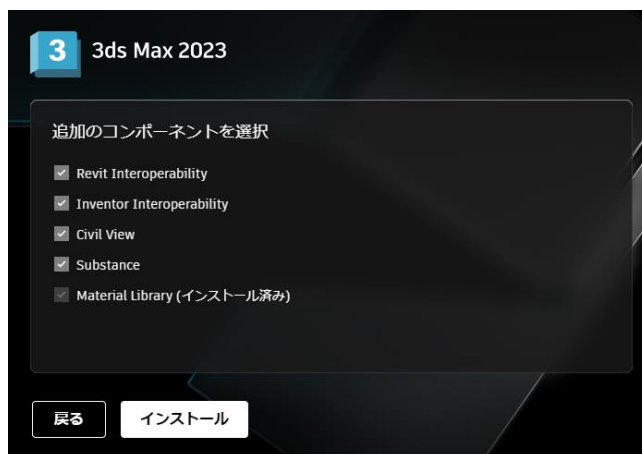


※Collection や Suite の場合、一体化したインストーラは存在しませんので、製品毎にインストールを行ってください。

- ② インストール先を選択し、『次へ』をクリックして進みます。

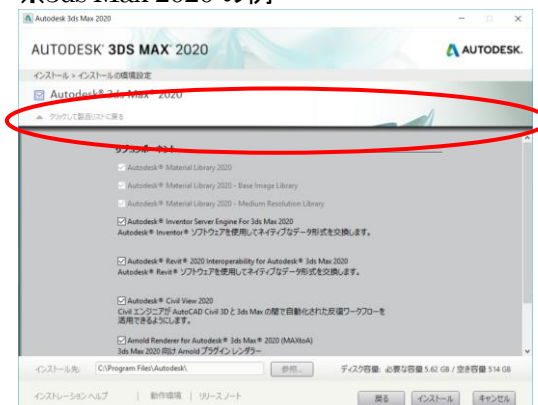


- ③ 追加でインストールしたいコンポーネントを選択(チェックマーク)し、「インストール」を選択します。

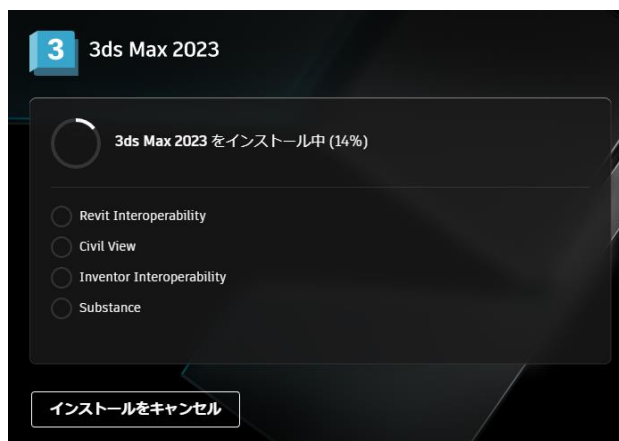


※アプリケーションによっては、アプリケーション下部にマウスカーソルを移動すると、「詳細設定」を行うことができるものがあります。サブコンポーネントやサービスパックのインストールが指定できます。

※3ds Max 2020 の例



- ④ 「インストール」をクリックすると、インストールが開始されます。インストールが終了するまで、数分～数十分かかります。



- ⑤ インストールが終了したら、エラーが出力されていないか確認してください。再起動を促してくる場合は、再起動してください。

セットアップログは、Windows 内の temp フォルダに保存されます。(＜製品名とバージョン＞Setup.log)
Windows エクスプローラのアドレスバーに %TEMP% と入力して開くフォルダです。

【例】

C:\Users\%<username>%\AppData\Local\Temp

- ⑥ 「開始」をクリックし、製品を起動します。ライセンスの種類を聞いてきますので、お持ちのライセンスタイプに従って、選択してください。

※【自分のライセンスタイプは何か？】や【選択のヒント】をクリックするとそれぞれの説明が表示されます。

- シングルユーザ(サブスクリプション契約のシリアル番号ライセンスまたは、保守プラン)



【シリアル番号を入力】をクリック

- マルチユーザ(サブスクリプション契約のネットワークまたは、保守プラン)



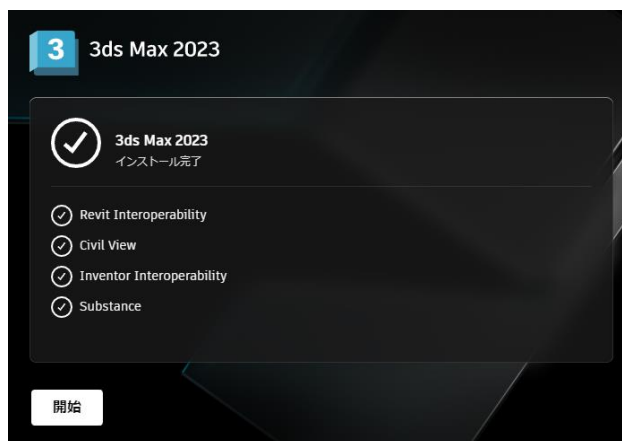
【マルチユーザ】または【ネットワークライセンスを使用】をクリック

※以下のライセンスタイプは選択しないようお願い致します。(詳細はサインイン版インストールガイドをご参照ください)

- シングルユーザ(ライセンスタイプが Autodesk ID または、サブスクリプション契約のスタンドアロン)



【Autodesk ID でサインイン】、【シングルユーザ】または【サインイン】をクリック



<2023>



<2021,2022>



<2020, 2019>



4-2. ネットワーク配置によるインストール、サイレントインストール

多数のコンピュータに同じ設定でインストールする場合やサイレントインストールしたい場合など、便利なインストール方法です。ある程度の知識が必要となりますので、詳細は以下のサイトをご参照ください。

- ・改善されたインストールサービスの製品のサイレントインストール

https://help.autodesk.com/view/INSTALL_LICENSE/JPN/?guid=GUID-4D762D36-E521-4D8D-8A48-B41FE2DDF381

※2020 以降の製品でご使用になれます。

- ・Maya のネットワーク配置 (Maya2020)

<https://help.autodesk.com/view/MAYAUL/2020/JPN/?guid=GUID-FBFA0C09-8E21-4EA1-95CD-E47A40D7C9F0>

<https://www.autodesk.co.jp/support/technical/article/caas/sfdcarticles/sfdcarticles/JPN/How-to-create-Maya-2020-network-deployment-Windows.html>

- ・クラシック インストールサービスを使用してネットワーク配置を作成する(上記以外)

https://help.autodesk.com/view/INSTALL_LICENSE/JPN/?guid=GUID-D3E6CC71-2199-471A-907C-18685696A7E3

4-3. アプリケーションの起動とアクティベート

■ ソフトウェアを起動するには

起動時に表示される、インストール形態を聞いてくるダイアログについて、2017 製品以降に準じて記述されています。

https://help.autodesk.com/view/INSTALL_LICENSE/JPN/?guid=GUID-2D94BBD7-34EE-4603-872C-D632CC600FEA

初回の起動時に、使用するライセンスの種類を選択しますが、【シリアル番号を入力】、【ネットワークライセンスを使用】をクリックした場合の手順を示します。

【シリアル番号を入力】 ※シングルユーザ(サブスクリプション契約のシリアル番号ライセンスまたは、保守プラン)

製品のシリアル番号、プロダクトキーを入力します。



※プロダクトキーを検索する

<https://www.autodesk.co.jp/support/download-install/individuals/product-key/look-up-product-keys>






【マルチユーザ】または【ネットワークライセンスを使用】 ※マルチユーザ(サブスクリプション契約のネットワークまたは、保守プラン)



※サーバの情報、LICPATH.LIC ファイルは、C:\ProgramData\Autodesk\CLM\LGS\<[プロダクトキー]>[バージョン] に保存されますが、他の Autodesk 製品や他のバージョンによってサーバが指定されていて、製品が起動できる場合は作成されないことがあります。ライセンスサーバを変更される場合は、P.21 「参照するライセンスサーバの追加、変更(マルチユーザのみ)」をご参照ください。

4-4. 使用するライセンス種類の変更

マルチユーザーライセンスやシングルユーザーライセンスなど複数のライセンスを所有している環境で、どのライセンスを使用するかを切り替えることができます。

<p>① メニュー右上のプルダウンから「ライセンスの管理」を選択します。</p>	<p>※Maya LT の例</p> 
<p>② 「ライセンスの種類を変更」をクリックします。</p>	 
<p>③ 一旦、アプリを終了しますので、保存するかどうか聞いてきます。</p>	
<p>④ 再起動すると、使用するライセンス種類を選択できます。</p>	

4-5. 参照するライセンスサーバーの追加、変更(マルチユーザーのみ)

マルチユーザー環境にて、クライアントが参照するライセンスサーバーは、環境変数、またはファイル内の記述で指定することができます。

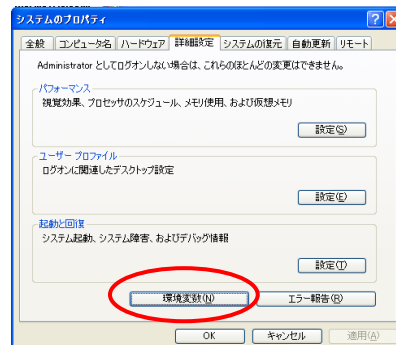
前述の P.19 「4-3. アプリケーションの起動とアクティベート」で「ネットワークライセンスを使用」で指定したライセンスサーバーから変更もしくは追加したいときは以下の指定方法で変更してください。

※優先度の高い順で記述しています。

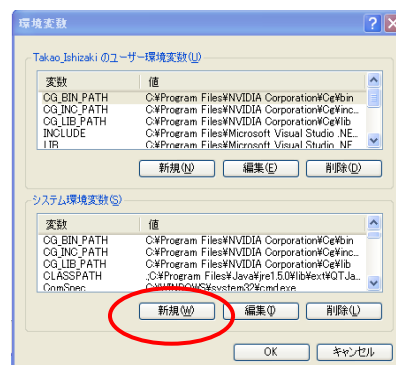
<環境変数、ADSKFLEX_LICENSE_FILE による方法>

この方法は、複数のライセンスサーバーを指定する際に便利です。記述順に検索し、空いているライセンスを取得することができます。

1. クライアントの PC で「マイコンピュータ」を右クリック > プロパティ を選択します。
2. [システムのプロパティ]ダイアログで、[詳細設定]タブを選択します。



3. ダイアログ下段の[環境変数]を押します。
4. [環境変数]ダイアログ下段の[システム環境変数]領域 > 新規 を押します。

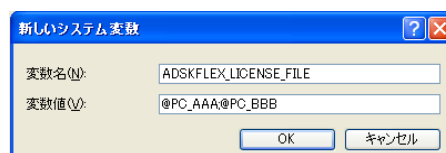


5. 新しいシステム変数として以下を設定します。

変数名: ADSKFLEX_LICENSE_FILE

変数値: @PC_AAA:@PC_BBB

のように、セミコロンをはさんで「@」の後にライセンスサーバー名を入力します。



6. [OK]ですべてのダイアログを閉じ、クライアント PC を再起動します。

<LICPATH.LIC を参照する方法>

以下のフォルダ内の LICPATH.LIC 内の記述で指定する方法です。

複数のライセンスサーバーの指定はできません。

Ver2020 以降:

C:\ProgramData\Autodesk\AdskLicensingService<[プロダクトキー]_[バージョン]>

Ver2017-2019:

C:\ProgramData\Autodesk\CLM\LGS<[プロダクトキー]_[バージョン]>

※LICPATH.LIC は、通常は、起動時にサーバを指定して製品が正常に起動できた後に作成されます。

※既に他の Autodesk 製品や他のバージョンでサーバが指定されている場合は、存在しないことがあります。

【例】 PC_AAA をライセンスサーバーとする場合

SERVER PC_AAA 000000000000

USE_SERVER

<参考サイト>

- ・ ネットワークライセンス製品で使用される LICPATH.LIC ファイルはどこに保存されていますか

<https://www.autodesk.co.jp/support/technical/article/caas/sfdcarticles/sfdcarticles/kA93g0000000ENp.html>

<注意>

Administrator 権限があるログインアカウントで、一旦起動が成功すると、レジストリへ登録され、以後それが参照されます。上記のいずれの設定も効かない場合、レジストリへ登録されている可能性があります。レジストリの設定を修正するか、クリアしてみてください。

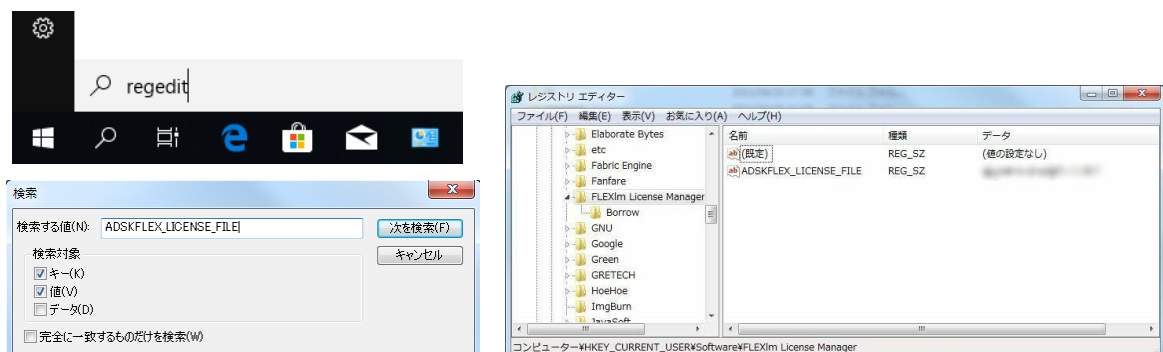
レジストリエディタは、コマンドプロンプト、もしくは、Windows メニューから、[ここに入力して検索]にて、**regedit** と入力して起動します。

登録されるキーは OS によって異なりますので、検索対象を「値」とし、**ADSKFLEX_LICENSE_FILE** を検索してください。

通常、以下に登録されています。

Windows 11/Windows 10/Windows 8 の場合:



HKEY_CURRENT_USER\Software\FLEXlm License Manager\ADSKFLEX_LICENSE_FILE



4-6. 前バージョンの使用

有効なサブスクリプション、または有効な保守プランをお持ちの場合は、前バージョンを使用できます。Autodesk アカウントにログインして、シリアル番号の発行やインストール、インストーラのダウンロードが可能です。

サブスクリプション契約直後は、まだデータベースに反映されていないため、「シリアル番号を取得」をクリックするとエラーになることがございます。契約開始日から少なくとも 24 時間お待ちいただいた後にシリアル番号の取得をお試しください。

<シングルユーザー>	<マルチユーザー>
	
<p>[サインイン]となっていれば、起動時にサインインするだけで起動できます。</p> <p>[シリアル番号を取得]となっている場合は、それをクリック、または、[ダウンロード]リンクをクリックすると、シリアルが自動的に発行されます。</p>	<p>最新バージョンのライセンスファイルを取得すると、過去3バージョン(製品によっては4~5バージョン)を含む形式(パッケージライセンス)で発行されます。</p>

<参考サイト>

- ・使用可能な製品バージョン

<https://www.autodesk.co.jp/support/account/manage/versions/previous-versions>

- ・旧バージョンをダウンロードする

<https://www.autodesk.co.jp/support/download-install/individuals/configure-install/download-previous-versions>

<前バージョンライフサイクルについて>

- ・製品サポートのライフサイクル

<https://www.autodesk.co.jp/support/account/manage/versions/support-lifecycle>

4-7. Arnold レンダーノードのインストール／設定(スタンドアロンレンダーを使用される場合)

Arnold レンダラを使用したレンダーファーム等を構築される場合やローカルマシンでバッチレンダリングされる場合などでは、Arnold のレンダリングライセンスの設定およびレンダーノードへのインストールが必要です。サブスクリプション特典の「クラウド利用権」により、クラウドでの運用も可能です。

<参考サイト>

・ライセンス管理ホーム - Arnold User Guide

https://help.autodesk.com/view/ARNOL/JPN/?guid=arnold_user_guide_arnold_setup_ac_licensing_home.html

・Arnold レンダリングファームを設定する方法

<https://www.autodesk.co.jp/support/technical/article/caas/sfdcarticles/sfdcarticles/JPN/How-to-set-up-an-Arnold-Render-Farm.html>

・サブスクリプションの特典に関するよくある質問(FAQ) : 3ds Max および Maya のクラウド利用権

<https://www.autodesk.co.jp/support/technical/article/caas/sfdcarticles/sfdcarticles/JPN/Subscription-Benefits-FAQ-Cloud-Rights.html>

※以下の手順はWindows 版での設定方法です。Mac 版、Linux 版での設定方法はこのサイトをご参照ください。

※M&E Collection(シングルユーザ／マルチユーザ)には、Arnold 2023/2022/2020/2018 ライセンスが5本含まれています。

※2020 以降の M&E Collection マルチユーザライセンスには、Arnold もライセンスファイル内に含まれておりますので、新たにご取得いただく必要はありません。

※M&E Collection シングルユーザでは、Arnold もシングルユーザにするか、マルチユーザにするかご購入時に選択可能です。ただし、シングルユーザをご選択いただいた場合は、指名ユーザのみでの使用に限定されますので、実質、共有のレンダーファームなどでご使用いただくことはできません。このため、レンダーファームでのご使用には、マルチユーザをご選択いただくことをお勧めしています。Arnold シングルユーザはローカルマシンで手軽にバッチレンダリングを行いたい場合などに適しています。

※現在、M&E Collection 付属の Arnold をシングルユーザライセンスでご使用されており、マルチユーザライセンスに変更をご希望される場合は、弊社サポートまでご連絡ください。

サポートサイト : <https://www.comtec.daikin.co.jp/DC/prd/collection/support/> - 「サポートリクエスト」

① レンダーノードへの Arnold レンダラのインストール

レンダーノードにて、Maya もしくは 3ds Max にて、Arnold レンダラを使用するよう設定したシーンをレンダリングするためには(Maya の Render.exe コマンド、3ds Max の 3dsmaxcmd.exe コマンドを使用の場合)、通常の方法で Maya もしくは 3ds Max をインストールします。このとき、サブコンポーネントにて、Arnold が選択されているのを確認します。

※3ds Max2021 以降では、デフォルトレンダラが Arnold に変更されていますので、強制的にインストールされます。(サブコンポーネントにリストアップされず、OFF にできません)



<Maya2023 の場合>



<3ds Max 2020 の場合>

マルチユーザの場合、Autodesk 製品のライセンスサーバー対応のため、Arnold レンダラの kick.exe は、ver5.0.1 以上である必要があります。

シングルユーザの場合、サインインライセンス対応のため、Arnold レンダラの kick.exe は、ver6.0 以上である必要があります。

コマンドプロンプトから以下のコマンドにてバージョンが確認できます。

バージョンが古い場合、最新の Update 版を適用してみてください。

ダウンロードサイト：<https://www.arnoldrenderer.com/download/>

・Maya2020 以降の場合：※ver6.0 以上がインストールされています。

“C:¥Program Files¥Autodesk¥Arnold¥maya<ver>¥bin¥kick.exe” —version

・Maya2019 の場合：

C:¥solidangle¥mtoadeploy¥2019¥bin¥kick.exe —version

・3ds Max 2022 以降の場合：

“C:¥ProgramData¥Autodesk¥ApplicationPlugins¥MAXtoA_<ver>¥kick.exe” —version

・3ds Max 2021 の場合：※ver6.0 以上がインストールされています。

“C:¥Program Files¥Autodesk¥3ds Max 2021¥ApplicationPlugins¥MAXtoA¥kick.exe” —version

・3ds Max 2020 の場合：

“C:¥ProgramData¥Autodesk¥ApplicationPlugins¥MAXtoA_2020¥kick.exe” —version

・3ds Max 2019 の場合：

“C:¥ProgramData¥Autodesk¥ApplicationPlugins¥MAXtoA¥kick.exe” —version

② お持ちの Arnold のライセンス形態によって、ライセンス設定を行ってください。

<マルチユーザーライセンスの場合>

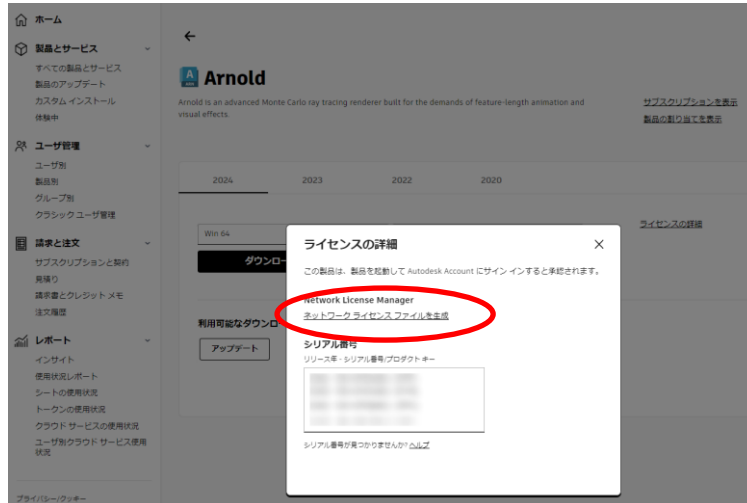
② -1. Arnold レンダリングライセンスの取得

※M&E Collection マルチユーザーライセンスをお持ちの場合には Arnold が5本含まれておりますので、このステップは不要です。②-2. へお進みください。

以下のサイトの方法で Arnold レンダリングライセンスを取得し、新規ライセンスサーバーを設定、もしくは既存のライセンスサーバーのライセンスファイルにマージします。マージ後はライセンスサーバーを再起動します。

・ライセンスファイルを取得、インストールする

<https://www.autodesk.co.jp/support/download-install/admins/network-licenses/obtain-and-install-a-license-file>



② -2. 以下の方法でライセンスサーバーを指定します。

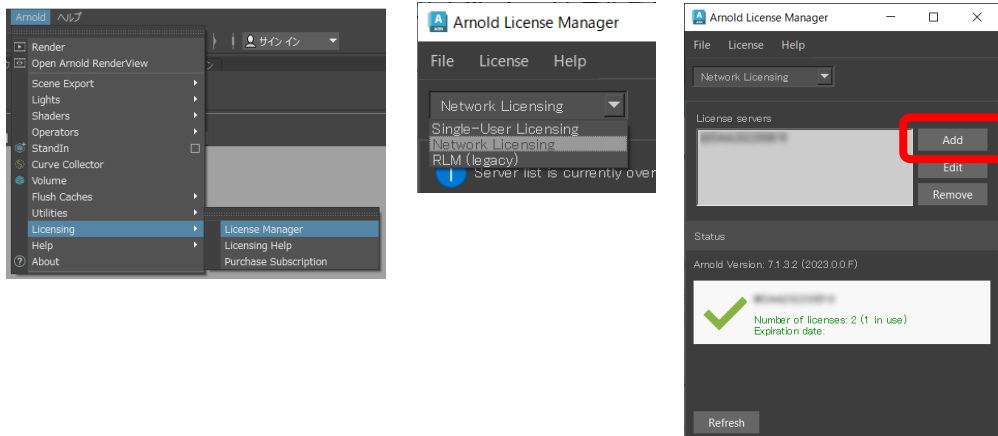
【特定のレンダリング用アカウントがある場合】

レンダリング用アカウントにログインし、ArnoldLicenseManager を使用してライセンスサーバーを指定します。

Maya: C:\Program Files\Autodesk\Arnold\maya<ver>\bin\ArnoldLicenseManager.exe

3dsMax: C:\ProgramData\Autodesk\ApplicationPlugins\MAXtoA_<ver>\ArnoldLicenseManager.exe

を管理者権限で起動、もしくは Maya や 3ds Max を起動した後、Arnold プルダウンにて、Licensing > License Manager を起動、プルダウンから”Network Licensing”を選択します。”Add”ボタンでライセンスサーバーを指定します。(シングルユーザから切り替える場合は、License > Switch to Network Licensing)



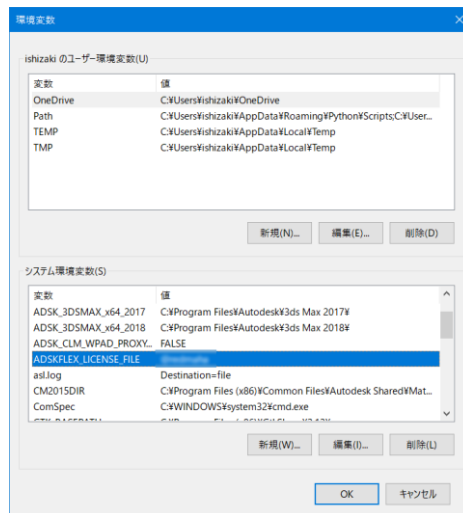
設定は以下に保存されています。アカウントに依存しますので、複数のレンダリング用アカウントが存在する場合は、アカウント毎に実施する必要があります。

C:\Users\<username>\AppData\Local\Autodesk\Arnold\config

【特定のレンダリング用アカウントが無い場合】

いずれのアカウントでも有効なライセンスサーバー指定方法として、システム環境変数、ADSKFLEX_LICENSE_FILE を使用してライセンスサーバーを指定します。

ADSKFLEX_LICENSE_FILE = @license_server_name or @IP_Address



変数値の設定例:

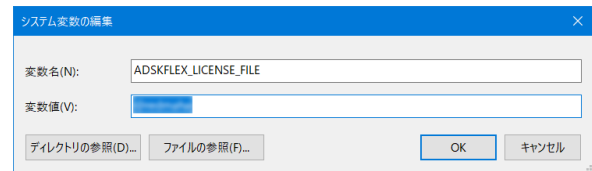
@server1

@server1;@server2;@193.45.12.4

2080@server1;2080@server2;2080@server3

※セミコロンで区切って、複数指定可能です。

※port@server の形式でポート番号が指定できます。



<参考サイト>

・環境変数 ADSKFLEX_LICENSE_FILE を使用してライセンス サーバを指定する方法
<https://www.autodesk.co.jp/support/technical/article/caas/sfdcarticles/sfdcarticles/JPN/How-to-specify-license-servers-using-the-ADSKFLEX-LICENSE-FILE-environment-variable-s.html>

<シングルユーザーライセンスの場合>

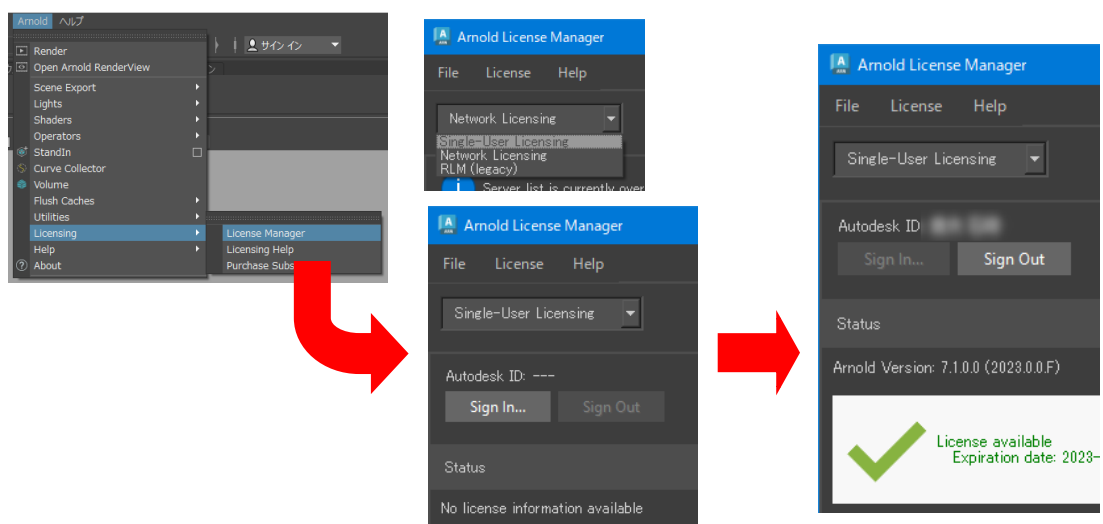
- ② -1. あらかじめ、Arnold 単体ライセンスもしくは Arnold を含む M&E Collection のシングルユーザーライセンスを、P.エラー! ブックマークが定義されていません。「エラー! 参照元が見つかりません。」の手順にて、指名ユーザに割り付けておきます。

- ② -2. レンダリングで使用するアカウントでログインし、Arnold ライセンスマネージャにて、サインインします

Maya: C:\Program Files\Autodesk\Arnold\maya<ver>\bin\ArnoldLicenseManager.exe

3dsMax: C:\ProgramData\Autodesk\ApplicationPlugins\MAXtoA<ver>\ArnoldLicenseManager.exe

を管理者権限で起動、もしくは Maya や 3ds Max を起動した後、Arnold プルダウンにて、Licensing > License Manager を起動、Single-user から、Autodesk ID でサインインします (マルチユーザから切り替える場合は、License > Switch to Single-user Licensing)。



設定は以下に保存されています。アカウントに依存しますので、複数のレンダリング用アカウントが存在する場合は、アカウント毎に実施する必要があります。

C:\Users¥<username>¥AppData¥Local¥Autodesk¥Arnold¥config

5. トラブルシューティング

本インストールガイドの手順通りにインストールしたにもかかわらず、起動しない場合は以下の項目をチェックしてみてください。

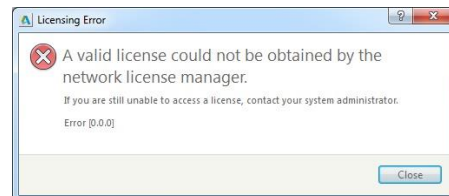
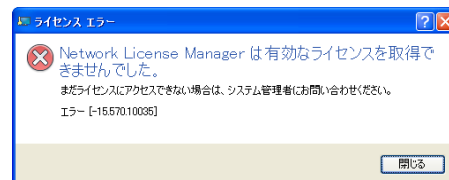
5-1. マルチユーザーのトラブルシューティング

<症状>

- ・ ネットワークライセンスでインストールしたにもかかわらず、スタンドアロンアクティベーションの画面が表示される



- ・ FLEXnet License Finder または「有効なライセンスが取得できない」が表示される



□チェック1: 以下のサイトにて、該当する FLEXnet のエラーコードが無いかチェックしてください。

- ・ FLEXnet の一般的なエラーコード

<https://www.autodesk.co.jp/support/technical/article/caas/sfdcarticles/sfdcarticles/JPN/Common-FlexNet-error-codes.html>

□チェック2: ライセンスサーバは適切なバージョンで、正常に起動していますか？

- ① デスクトップもしくは下記パスに存在する LMTools を起動します。
C:\¥Autodesk¥Network License Manager¥lmtools.exe
- ② [Service/License File]タブにて、"Configuration using Services"を選択し、設定したライセンスサービスを選択します。さらに、"LMTOOLS ignores license file path environment variables"にチェックを入れます。
- ③ [Server Status]タブをクリックし、[Perform Status Enquiry]ボタンを押します。
- ④ 以下のように表示されているか確認します。

Status

Flexible License Manager status on Mon 4/12/2021 11:24

[Detecting lmgrd processes...]

License server status: 27000@サーバマシン名

License file(s) on サーバマシン名: 使用しているライセンスのファイルパス:

サーバマシン名: license server UP (MASTER) v11.18.0 (※2)

Vendor daemon status (on サーバマシン名):

adskflex: UP v11.18.0

Feature usage info:

Users of XXXXXXXX(※1): (Total of 1 license issued; Total of 0 licenses in use)

・
・

(※1)製品固有の FEATURE 名が表示されます。製品によっては FEATURE 行が複数存在するものもあります。

(※2)2024 以降の場合は、v11.18.0.0 以上、2020 以降の製品の場合は、v11.16.2 以上、2019 製品の場合は、v11.14.1 以上、2018,2017 製品の場合は v11.13.1 以上であることを確認してください。

<FEATURE コード参考サイト>

・フィーチャ コード

<https://www.autodesk.co.jp/support/download-install/admins/product-key-code/feature-codes>

□チェック3: ファイアウォールを使用されている場合、設定は行われていますか？

まずは、ファイアウォールを無効にした状態で、起動するかどうかチェックしてみてください。

ファイアウォールを使用される場合は、P. 14の⑥にて、ファイアウォールで開放するポートの設定、またはライセンスマネージャプログラムの例外登録を行ってください。

□チェック4: クライアント側で参照しているライセンスサーバ名は正しいですか？

P.21の「4-5. 参照するライセンスサーバーの追加、変更」を参照し、参照しているライセンスサーバ名が正しいかご確認ください。名前解決がされていない可能性もありますので、マシン名ではなく、IP アドレスで指定する方法もお試ください。(例: @172.17.4.10)

また、P.22<注意>にて、意図しないライセンスサーバがレジストリに登録されていないかご確認ください。

□チェック5: カスケード情報ファイルが破損していませんか？

「ソフトウェアライセンスのチェックアウトに失敗しました。エラー2」というメッセージが伴っている場合にこれが原因である可能性が高いです。カスケード情報を管理するファイルは自動的に作成されますので、ほとんどの場合、意識する必要が無いものですが、クリアする意味で削除してみると起動できるようになることがあります。

以下のファイル(CascadeInfo.cas)をリネーム(CascadeInfo.cas.BAK など)、または削除後、各アプリを再起動してください

Windows 11/Windows 10/Windows 8 の場合:

C:\ProgramData\Autodesk\Adlm\CascadeInfo.cas

<カスケード一覧>

ライセンスサーバ上に、異なるパッケージのライセンスが混在する場合、以下の優先度でライセンスが取得されます。優先度は変更できませんので、不都合が生じる場合は、ライセンスサーバを分けるなどの処置が必要です。ただし、Autodesk 全製品で 2016 以降は、環境変数 ADSK_CASCADING_OVERRIDE の値を 0(ゼロ)に設定することにより、カスケードを無効にできます。

Maya については、環境変数 MAYA_DISABLE_CASCADING に任意の値を設定することによりカスケードを無効にできます。この場合は、インストール時のプロダクトキーにより使い分けることができます。使い分けをするマシンが決まっていないなど、運用上、不都合が生じる場合は、やはりライセンスサーバを分けるなどの処置が必要となります。

【Maya2020 の例】

1	Maya 2020 (サブスクリプション)
2	Maya 2020 (永久ライセンス)
3	Media & Entertainment Collection (サブスクリプション)
4	Maya Entertainment Creation Suite Standard 2020 (永久ライセンス)
5	Entertainment Creation Suite Ultimate 2020 (永久ライセンス)
6	Maya 2020 with Softimage (永久ライセンス)

- ・概要 - ライセンスオプションとツール > カスケードライセンスを使用する：
<https://www.autodesk.co.jp/support/download-install/admins/network-licenses/about-licensing-options-and-tools>
- ・マルチユーザライセンスのライセンス消費とカスケード動作
<https://www.autodesk.co.jp/support/technical/article/caas/sfdarticles/sfdarticles/JPN/Cascading-Behavior-for-the-Autodesk-Industry-Collections.html>
- ・Maya の場合：一般的な変数 (MAYA_DISABLE_CASCADING を参照ください)
<https://help.autodesk.com/view/MAYAUL/2024/JPN/?guid=GUID-FC154DF1-CC21-4DBF-9FAC-19FDE6DCBC9A>

5-2. シングルユーザーのトラブルシューティング/FAQ

- シングルユーザライセンスで、2014～2017 をアクティベートの際、インターネット接続が正常にもかかわらず、「インターネット接続を確立して続行してください」のメッセージが出る
以下のサイトに幾つかの解決策が記述されています。
 - ・起動時に「インターネット接続を確立して続行してください」と表示される場合のトラブルシューティング
<https://www.autodesk.co.jp/support/technical/article/caas/sfdarticles/sfdarticles/JPN/Meta-licensing.html>
特に、解決策 1 の TLS の更新で、多くのケースで解決に至っています。TLS の更新は、以下のサイトにて、パッチがダウンロードいただけます。

<2016>

Transport Layer Security (TLS)：2016 製品でソフトウェア アクセスを維持するには更新が必要

<https://www.autodesk.co.jp/support/technical/article/caas/tsarticles/tsarticles/JPN/ts/5w75F5ZyLJe7kP6P5WNpsk.html>

<2015>

トランスポート層セキュリティ (TLS)：ソフトウェアアクセスを維持するために 2015 製品に必要な更新

<https://www.autodesk.co.jp/support/technical/article/caas/tsarticles/tsarticles/JPN/ts/3JKb07HyQxXOWMQYhnYPmK.html>

- ・ Transport Layer Security (TLS)：ソフトウェア アクセスを維持するには更新が必要です

<https://www.autodesk.co.jp/support/technical/article/caas/sfdarticles/sfdarticles/JPN/Transport-Layer-Security-TLS-Updates-Required-to-Maintain-Software-Access.html>

- 「ライセンスの更新」または「管理者に、この製品を使う権限を申請してください」が表示される

起動時に、急にこのような画面が表示されるようになった場合、ライセンスに関連するキャッシュ情報が破損している可能性があります。以下のサイトをご参照いただき、アクセス権の再設定やライセンス情報のリセットをお試しください。

<https://www.autodesk.co.jp/support/technical/article/caas/sfdarticles/sfdarticles/kA93g00000003Sh.html>

<https://www.autodesk.co.jp/support/technical/article/caas/sfdarticles/sfdarticles/JPN/Contact-your-administrator-to-request-permission-to-use-this-product.html>

- オートデスク ソフトウェアを起動すると「この製品を開くときにライセンス エラーが発生しました」というライセンス エラー表示される

起動時に、このような画面が表示される場合、ライセンスファイルの破損、セキュリティ設定の制限の問題である可能性があります。以下のサイトをご参照いただき、ライセンスに関連する情報の削除等をお試しください。

<https://www.autodesk.co.jp/support/technical/article/caas/sfdarticles/sfdarticles/JPN/Licensing-Error.html>

- シリアルを入力し、アクティベートボタンを押しても、何度でも同じシリアル番号の記入画面が現れて、先に進まない

シリアルや Autodesk ID の情報が残っている場合に発生することがあります。以下のサイトをご参照いただき、アクティベーションのリセットをお試しください。

・ オートデスク製品のライセンス アクティベーションのリセット方法を教えてください(シングルユーザー アクセスのスタンドアロン ライセンスの場合)

※オートデスク製品のライセンス アクティベーションのリセット

<https://www.autodesk.co.jp/support/technical/article/caas/sfdarticles/sfdarticles/JPN/Forcing-re-activation-of-product.html>

- インターネット接続されていないマシンで使用できますか？

インストール時および初回の起動のサインイン時にはインターネット接続が必要ですが、その後は、オフラインで 30 日間まで動作できます。

オフラインで使用している場合、アクティベーション情報更新のため、インターネット接続が必要になると、その 7 日前にソフトウェアから通知されます。

- ・ インターネットに接続せずにオートデスクサブスクリプション製品を使用する

<https://www.autodesk.co.jp/support/technical/article/caas/sfdarticles/sfdarticles/JPN/About-using-a-Autodesk-product-on-subscription-without-an-Internet-connection.html>

5-3. シングルユーザー／マルチユーザーのトラブルシューティング

- Security Tools for Autodesk® Maya® 2020 - 2015

Maya の動作を妨げる悪意あるスクリプトの存在が確認されています。

このマルウェアは、シーンファイルに組み込まれ 2020 年 6 月 27 日以降に Maya の起動を妨げます。感染したシーンファイルは、MayaMelUIConfigurationFile という script ノードを含み、同じ環境で他のシーンを扱うことで script ノードが伝染します。この script ノードは手動で削除しても、シーンファイルに再び作成されてしまいます。

この問題を解決するには、以下のサイトをご参照いただき、Maya セキュリティツールをご利用ください。なお、Maya2022 以降のバージョンでは、同等以上のセキュリティ機能が追加されておりますので、適用する必要はありません。

<https://area.autodesk.jp/information/securitytools/>

- Security Tools for Autodesk® 3ds Max® 2021 - 2015SP1

3ds Max のインストールと .max シーンファイルを破壊する可能性のある MAXScript ベースの 익스プロイト(「PhysXPluginMfx」と呼ばれる)の存在が確認されています。

この問題を解決するには、以下のサイトをご参照いただき、Maya セキュリティツールをご利用ください。なお、3ds Max 2021.3 以降のバージョンでは、このセキュリティツールは内蔵されておりますので、適用する必要はありません。

<https://www.autodesk.co.jp/support/technical/article/caas/sfdcarticles/sfdcarticles/JPN/PhysXPluginMfx-MAXScript-based-malware-may-corrupt-3ds-Max-installation-and-files.html>

- インストール時の一般的なトラブルシューティング

インストール時の一般的なトラブルシューティングは以下のサイトをご参照ください。(オートデスク製品共通)

<https://www.autodesk.co.jp/support/technical/article/caas/sfdcarticles/sfdcarticles/kA93g000000003e.html>

- 起動時にクラッシュする。または致命的エラーや回復できないエラーが表示される。

- ・ ユーザ設定の初期化

まずはユーザプリファレンスの初期化をお試しください。それぞれ、以下のフォルダを別名にした後、再起動をお試しください。新しくユーザプリファレンスのフォルダが作成されます。

※フォルダが見つからない場合は、すべての隠しファイルとフォルダを表示できる様に OS の設定変更を行ってください。

<Maya>

(Windows) C:\Users\%<username>\Documents\maya\%<ver>

(Mac) /Users/<username>/Library/Preferences/Autodesk/maya/<ver>

<3ds Max>

C:\Users\%<username>\AppData\Local\Autodesk\3dsMax\%<ver>

<MotionBuilder>

C:\Users\%<username>\Documents\MB\%<ver>

<Mudbox>

C:\Users\%<username>\Documents\Mudbox\%<ver>

-
- ・ Windows でオートデスク製品のクリーン アンインストールを実行する方法
ライセンスの情報を含めクリーンアンインストールを行い、インストールをやり直す方法となります。
<https://www.autodesk.co.jp/support/technical/article/caas/sfdcarticles/sfdcarticles/JPN/Clean-uninstall.html>
 - Autodesk Licensing Service Update
ライセンシング関連の更新プログラムがダウンロードできます。通常、最新のものは、過去の更新分を含んでおります。
 - ・ リリースノート／ダウンロード
<https://www.autodesk.co.jp/support/technical/article/caas/tsarticles/tsarticles/JPN/ts/6jWlafu6rb46GKeh4N2ssk.html>
 - ライセンスタイプの変更が反映されない。体験版から製品版への切替がうまくいかない。
ライセンスタイプの切り替え（シングルユーザーとマルチユーザー間の相互切り替え）を行ったにもかかわらず、正常に反映されない場合や体験版から製品版への切替がうまくいかない場合の対処法です。
 - ・ オートデスク ソフトウェアのライセンスを変更またはリセットする方法
<https://www.autodesk.co.jp/support/technical/article/caas/sfdcarticles/sfdcarticles/JPN/How-to-change-or-reset-licensing-on-your-Autodesk-software.html>
 - 「アクティベーションの制限数に達しました」というエラーが表示される
ライセンスで許可される最大数のコンピュータ上で製品のアクティベートを既に行っている場合に表示されますが、移設によりアクティベーションの制限数に達してしまうこともあります。
 - ・ 「アクティベーションの制限数に達しました(エラー:10)」というエラーが表示される
<https://www.autodesk.co.jp/support/technical/article/caas/sfdcarticles/sfdcarticles/JPN/Unable-to-activate-product-due-to-Error-10-Activation-Limit-Reached-error.html>
 - ・ ネットワークライセンスファイルを生成するときに「この製品のアクティベーションの制限数に達しました」というエラーが表示される
<https://www.autodesk.co.jp/support/technical/article/caas/sfdcarticles/sfdcarticles/JPN/You-have-reached-the-activation-limit-for-this-product-error-when-generating-a-network-license-file.html>

6. リンク集

6-1. 各製品のドキュメント(バージョンに非依存)

- **Maya 関連サイト**

- Maya 日本語ヘルプ(ダウンロード版)

<https://www.autodesk.com/support/technical/article/caas/tsarticles/ts/6hGHDwrHzKBq8zd65p4LpK.html>

- Maya リリースノート

<https://www.autodesk.com/support/technical/article/caas/tsarticles/ts/1cLmCcZqfIW7nlsH4Haf0l.html>

- Autodesk Maya デベロッパー センター

<https://www.autodesk.com/developer-network/platform-technologies/maya>

- **3ds Max 関連サイト**

- 3ds Max 日本語ヘルプ(ダウンロード版)

<https://www.autodesk.co.jp/support/technical/article/caas/tsarticles/tsarticles/JPN/ts/2RN4kqiMaBPgydf2wD37po.html>

- 3ds Max サンプルファイル

<https://www.autodesk.co.jp/support/technical/article/caas/tsarticles/tsarticles/JPN/ts/3CM2c0t6Fvo2ISawUNRICT.html>

- **Arnold 関連サイト**

- 製品情報

<https://area.autodesk.jp/product/arnold/>

- 特設サイト(最新版ダウンロード、サポートなど)

<https://www.arnoldrenderer.com/>

- Arnold ヘルプ、ユーザガイド、Arnold for Maya、Arnold for 3ds Max (日本語)

<https://help.autodesk.com/view/ARNOL/JPN/>

- Arnold プラグイン バージョン リファレンス (日本語)

https://help.autodesk.com/view/ARNOL/JPN/?guid=arnold_user_guide_ac_version_reference_html

- **MotionBuilder 関連サイト**

- MotionBuilder 機能紹介ムービー

<https://area.autodesk.jp/movie/motionbuilder/>

- **Mudbox 関連サイト**

- ・Mudbox 日本語オンラインヘルプ(リリースノート)
<https://help.autodesk.com/view/MBXPRO/JPN/>
- ・Mudbox Documentation(日本語、英語)
<https://www.autodesk.co.jp/support/technical/article/caas/tsarticles/tsarticles/JPN/ts/4pKNf9sVt8aHELSDrWkHh.html>

- **SDKドキュメント**

- ・AUTODESK DEVELOPER NETWORK
<https://www.autodesk.com/developer-network/overview>

- **Autodesk Access 関連サイト**

- ・Autodesk Access オンラインヘルプ(FAQ、リリースノート)
<https://help.autodesk.com/view/ACCESS/JPN/>

6-2. 各 2024 製品のヘルプ、ドキュメント

- **Maya 関連サイト**

- ・Maya 2024 日本語オンラインヘルプ(新機能、リリースノート)
<https://help.autodesk.com/view/MAYAUL/2024/JPN/>
- ・Maya2024 新機能ダイジェスト(ムービー)
<https://area.autodesk.jp/product/maya/features/2024/>

- **3ds Max 関連サイト**

- ・3ds Max 2024 日本語オンラインヘルプ(新機能、リリースノート)
<https://help.autodesk.com/view/3DSMAX/2024/JPN/>
- ・3ds Max 2024 新機能ダイジェスト(ムービー)
<https://area.autodesk.jp/product/3ds-max/features/2024/>

- **MotionBuilder 関連サイト**

- ・MotionBuilder 2024 オンラインヘルプ(新機能、リリースノート)
<https://help.autodesk.com/view/MOBPRO/2024/JPN/>

- **SDKドキュメント(3ds Max/Maya/Mudbox/FBX)**

- ・Autodesk Media and Entertainment 2024 SDK Documentation
<https://www.autodesk.com/developer-network/platform-technologies/me-sdk-docs-2024>

6-3. 各 2023 製品のヘルプ、ドキュメント

- **Maya 関連サイト**

- Maya 2023 日本語オンラインヘルプ(新機能、リリースノート)
<https://help.autodesk.com/view/MAYAUL/2023/JPN/>

- Maya2023 新機能ダイジェスト(ムービー)
<https://area.autodesk.jp/information/maya-2023/>

- **3ds Max 関連サイト**

- 3ds Max 2023 日本語オンラインヘルプ(新機能、リリースノート)
<https://help.autodesk.com/view/3DSMAX/2023/JPN/>

- 3ds Max 2023 新機能ダイジェスト(ムービー)
<https://area.autodesk.jp/product/3ds-max/features/2023/>

- **MotionBuilder 関連サイト**

- MotionBuilder 2023 オンラインヘルプ(新機能、リリースノート)
<https://help.autodesk.com/view/MOBPRO/2023/JPN/>

- **SDK ドキュメント(3ds Max/Maya/Mudbox/FBX)**

- Autodesk Media and Entertainment 2023 SDK Documentation
<https://www.autodesk.com/developer-network/platform-technologies/me-sdk-docs-2023>

6-4. 各 2022 製品のヘルプ、ドキュメント

- **Maya 関連サイト**

- Maya 2022 日本語オンラインヘルプ(新機能、リリースノート)
<https://help.autodesk.com/view/MAYAUL/2022/JPN/>

- Maya2022 新機能ダイジェスト(ムービー)
<https://area.autodesk.jp/information/maya-2022/>

- **3ds Max 関連サイト**

- 3ds Max 2022 日本語オンラインヘルプ(新機能、リリースノート)
<https://help.autodesk.com/view/3DSMAX/2022/JPN/>

・3ds Max 2022 新機能紹介ムービー

<https://area.autodesk.jp/movie/3ds-max-2022/>

- **MotionBuilder 関連サイト**

・MotionBuilder 2022 オンラインヘルプ(新機能、リリースノート)

<https://help.autodesk.com/view/MOBPRO/2022/JPN/>

- **SDK ドキュメント(3ds Max/Maya/Mudbox/FBX)**

・Autodesk Media and Entertainment 2022 SDK Documentation

<https://www.autodesk.com/developer-network/platform-technologies/me-sdk-docs-2022>

6-5. 各 2021 製品のヘルプ、ドキュメント

- **3ds Max 関連サイト**

・3ds Max 2021 日本語オンラインヘルプ(新機能、リリースノート)

<https://help.autodesk.com/view/3DSMAX/2021/JPN/>

・3ds Max 2021 新機能紹介ムービー

<https://area.autodesk.jp/movie/3ds-max-2021/>

- **SDK ドキュメント(3ds Max)**

・Autodesk Media and Entertainment 2021 SDK Documentation

<https://www.autodesk.com/developer-network/platform-technologies/me-sdk-docs-2021>

6-6. 各 2020 製品のヘルプ、ドキュメント

- **Maya 関連サイト**

・Maya 2020 日本語オンラインヘルプ(新機能、リリースノート)

<https://help.autodesk.com/view/MAYAUL/2020/JPN/>

・Maya 2020 新機能ダイジェスト

<https://area.autodesk.jp/information/maya-2020/>

- **3ds Max 関連サイト**

・3ds Max 2020 日本語オンラインヘルプ(新機能、リリースノート)

<https://help.autodesk.com/view/3DSMAX/2020/JPN/>

- 3ds Max 2020 新機能紹介ムービー
<https://area.autodesk.jp/movie/3ds-max-2020/>
- **MotionBuilder 関連サイト**
 - MotionBuilder 2020 日本語オンラインヘルプ(新機能、リリースノート)
<https://help.autodesk.com/view/MOBPRO/2020/JPN/>
- **Mudbox 関連サイト**
 - Mudbox 2020 日本語オンラインヘルプ(新機能、リリースノート)
<http://help.autodesk.com/view/MBXPRO/2020/JPN/>
- **SDK ドキュメント(3ds Max/Maya/Mudbox/FBX)**
 - Autodesk Media and Entertainment 2020 SDK Documentation
<https://www.autodesk.com/developer-network/platform-technologies/me-sdk-docs-2020>

6-7. 各 2019 製品のヘルプ、ドキュメント

- **Maya 関連サイト**
 - Maya 2019 日本語オンラインヘルプ(新機能、リリースノート)
<https://help.autodesk.com/view/MAYAUL/2019/JPN/>
 - Maya2019 新機能紹介ムービー
<https://area.autodesk.jp/movie/maya-2019/>
- **3ds Max 関連サイト**
 - 3ds Max 2019 日本語オンラインヘルプ(新機能、リリースノート)
<https://help.autodesk.com/view/3DSMAX/2019/JPN/>
 - 3ds Max 2019 新機能紹介ウェビナー
<https://area.autodesk.jp/movie/3ds-max-2019/>
- **MotionBuilder 関連サイト**
 - MotionBuilder 2019 日本語オンラインヘルプ(新機能、リリースノート)
<https://help.autodesk.com/view/MOBPRO/2019/JPN/>
- **Mudbox 関連サイト**
 - Mudbox 2019 日本語オンラインヘルプ(新機能、リリースノート)
<http://help.autodesk.com/view/MBXPRO/2019/JPN/>

-
- SDKドキュメント(3ds Max/Maya/MotionBuilder/Mudbox/FBX)

・Autodesk Media and Entertainment 2019 SDK Documentation

<https://www.autodesk.com/developer-network/platform-technologies/me-sdk-docs-2019>

6-8. Autodesk 製品全般に関する情報

- ダイキン工業株式会社 電子システム事業部 CG・コンテンツ制作
<https://www.comtec.daikin.co.jp/DC/>
※各製品のサイトに「サポート」サイトもございます。
- Autodesk 製品サポート
製品名、バージョン、文字列などで Q&A を検索できます。
<https://www.autodesk.co.jp/support>
- Autodesk AREA JAPAN
オートデスクによるエンターテインメント業界向けの情報サイトです。
<https://area.autodesk.jp/>
- Autodesk APP STORE
オートデスクによるアプリケーション販売サイト
<https://apps.autodesk.com/ja>
- Autodesk Community
FAQ, How to など、ディスカッショングループフォーラムのサイトです。
<https://forums.autodesk.com/>
日本語ディスカッションフォーラムサイト：
<https://www.autodesk.com/forum-jp>
- Autodesk Account でサブスクリプションを管理する方法
Autodesk ID アカウントの管理（管理者変更）、インストールやライセンス等のヘルプサイトにアクセスできます。
<https://www.autodesk.co.jp/support/account>

6-9. Autodesk 社のテクニカルサポート

Autodesk アカウント内の問題につきましては、弊社（ダイキン工業）からはアクセスできませんので、必ずこちらのサポートサービスをご利用ください。

- サブスクリプションおよび保守プラン向けのサポート
 - ・サブスクリプションおよび保守プランをご契約の方は、E-Mail および電話によるサポートのご利用が可能です。電話は、予約制電話サポートとなりますので、以下のサイトから予約を行ってください。
<https://www.autodesk.co.jp/support/contact-support>

6-10. ダイキン工業のテクニカルサポート

- サポート契約のご案内

弊社サポートサイトには以下の内容が掲載されております。

- ・各サポート契約の内容および内容比較
- ・各製品のサポートサイトへのリンク
- ・サブスクリプション購入特典サイトへのリンク
- ・SUITE USERS NOTES へのリンク
- ・ライセンスリクエストフォーム
- ・サポートリクエストフォーム

<https://www.comtec.daikin.co.jp/DC/prd/collection/support/>

※テクニカルサポートをご依頼の際は、サポートリクエストフォームをご利用ください。

※Autodesk アカウント内の問題につきましては、上記 Autodesk 社のテクニカルサポートをご利用ください。

Autodesk 2024, 2023, 2022, 2021, 2020, 2019,簡易インストールガイド

シリアル番号ライセンス(マルチユーザー/シングルユーザー)

2024年 1月 第一版発行

発行者 ダイキン工業株式会社 電子システム事業部 CG Products サポートセンター
本書に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

〒104-0028

東京都中央区八重洲二丁目2番1号 東京ミッドタウン八重洲 八重洲セントラルタワー

ダイキン工業株式会社 電子システム事業部 CG Products サポートセンター

E-mail: cg-support@daikin.co.jp

本書の一部または全部を、無断で複写、転載することは、著作権法の定める範囲で禁じられています。
